

紫苑グループの情報をお届けします

2025

SHION

冬号



TOPICS :

- 会長 年始のご挨拶
- NST通信【身体計測について】
- インフルエンザについて
- クリスマスと看護体験
- 新しい医師のご紹介
- 「みんなのなんでも相談会」 ご報告





年始のご挨拶

新年明けましておめでとうございます
今年もよろしくお願いいたします。

藤井病院（鞆町）が福山南病院（水呑町）に2023年12月1日に移転し、鞆の藤井病院は鞆藤井医院となって、約1年が経過しました。

その間、藤井病院時代には3年間で1度しかなかった、院内コロナクラスターを1年で2度も経験しご迷惑もおかけしましたが、一方で救急医療功労賞の受賞など、めでたいこともありました。

スタッフも新しい環境に慣れてきて、地域の皆様の健康を守るお手伝いが少しずつできるようになってきているのではないかと思います

まだまだ至らない点が多いかもしれませんが、今後も職員一丸となって今後とも地域医療に貢献していきたいと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。



医療法人紫苑会 会長
宮阪 英

【NST通信】身体計測の重要性

今回は「身体計測」についてご紹介します。

福山南病院NSTでは、毎週ラウンドをする際に、身体計測を行っています。

身体計測は患者様の栄養状態を評価し、適切な栄養管理を行うための重要な手段になります。具体的には「身長」と「体重」、「上腕周囲長（AC）」と「上腕三頭筋部皮下脂肪厚（TSF）」の測定をします。

「身長」と「体重」は、BMI（体格指数）でやせの程度を判定したり、身長と体重から基礎エネルギー量を求め、それに活動量や侵襲による係数を掛け合わせる事で、回復に必要なエネルギー量を算出します。

さらに体重の変化は、体液のバランスや推移を診断する時にも有用です。

ちなみに身長については、寝たきりや立ち上がることが出来ない患者様は、身長計を使っての計測が出来ないので、「膝高」（膝から踵までのけい骨の長さ）を測定し、おおよその身長を計算で予測します。



第28回 福山医学祭 優秀賞受賞！

第28回福山医学祭において、意思決定支援に関わった事例報告や新人の離職率を0%にするために取り組んだ成果、病床転換期に取り組んだカンファレンスの効果など3題発表し、優秀発表賞をいただきました。

ご協力・御指導いただきました皆様に感謝するとともに、この取り組みを糧にして今後も「生きる」を支える看護実践に努めていきます。（看護部）



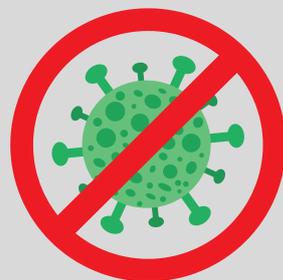


大流行！インフルエンザってどんなウイルス？

今年の冬はインフルエンザがとても流行しています。ここでもう一度インフルエンザについて思い出してみましょう。

インフルエンザは日本（北半球）では、11月下旬から12月上旬に発生し始め、1～2月にピークを迎え、その後収束していきます。くしゃみ、咳、会話などで生じた気道分泌物が飛び散ることにより、感染します（飛沫感染）。くしゃみや咳によって、ウイルスを含んだ飛沫（水滴）は2メートルほど飛ぶと言われています。予防にはマスクや手洗いがとても大事です。潜伏期間（感染してから発症するまでの期間）は平均2日で、症状が出る1日前からウイルスを排泄しています。症状は、発熱、頭痛、寒気、筋肉痛、関節痛、だるさ、咳、のどの痛み、鼻水で発症します。症状だけで普通の風邪と区別するのは難しいですが、インフルエンザ流行期で身近にインフルエンザの方がおられる状況、そしてその方と同様の風邪症状があるような場合は、検査しなくとも診察だけでインフルエンザと診断できることもあります。かかりつけの先生に相談してみましょう。

基本的には3～7日以内によくなるのですが、咳などが2週間以上続くこともあります。タミフルなどの抗インフルエンザ薬は、基礎疾患のない元気な若者であれば、基本的に必要ありません。症状が良くなるのを1日早くする効果があるだけと言われています。ただ、肺炎などの合併症のリスクが高い人は重症化しやすく、抗インフルエンザ薬のよい適応です。たとえば、高齢者、5歳未満のこども、ぜんそくや肺気腫などの呼吸器疾患のある人、免疫不全がある人、妊婦、施設に入所している方などです。最も頻度が高く、入院や死亡の原因となる合併症は（細菌性）肺炎です。1週間経っても全く良くなっていない場合や、一回よくなってまた症状がひどくなる場合などはかかりつけの先生に相談してくださいね。



クリスマスと看護体験

高校生が2回目の看護体験に
来てくれました！



目標：患者さんへの接し方など、
看護について詳しく知りたい

楽しいこともあったり、衝撃的なこともあったり、
たくさんの経験ができました・・・とにっこり。

言葉にできただけでも8項目を体験
目標達成率100%をいただきました。

ちょうどその日はクリスマス会の日

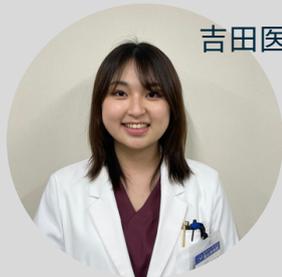
演奏を聞いたり、歌ったり、ゲームもありました
患者さんはマスクをされていますが、
楽しそうだったり・嬉しそうな感じが
目の表情から伝わったそうです。



今回、学校主催の「夢プロジェクト」の一環として看護体験をされました。
今後も看護師を目指して頑張ってください。



新しい先生のご紹介



吉田医師

ご無沙汰しております。半年間、救急科と小児科を学び、この1月より福山南病院に帰ってまいりました。これまでの経験を活かし、より患者さまに寄り添った診療を目指して頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

2024年10月より赴任しております、東と申します。基本的にはふじいクリニックに勤務しており、週に2回福山南病院で外来診療に携わせていただいております。半年間という短い期間となりますが、患者さんに寄り添い、少しでも福山の医療に貢献できるよう、頑張りますのでよろしくお願いいたします。



東医師



宮地医師

生まれ育った地元で、地域密着型医療に取り組みますことをありがたく感じております。12月と1月の短い間ではございますが、少しでも地域の皆さまの助けになれるよう日々精進してまいります。よろしくお願いいたします。

福山市民病院から来ました。2か月という短い期間ではありますが、できる限り多くのことを吸収して今後の診療に役立てたいと思っています。よろしくお願いいたします。



寺田医師



野崎医師

岡山大学病院から参りました、野崎と申します。患者様の健康に貢献できるよう努力して参ります。半年間という短い間ですがよろしくお願いいたします。

みんなのなんでも相談会のご報告

参加されたみなさまからの声

- とても親しみやすく、わかりやすい話でした。
- これから自分や家族の事を話し合うのが大事だと思いました。
- いろいろな個別に聞いてもらって良かった。血圧が年齢かどうか高いので気になる。
- これから行く道、良いお話をありがとうございました。次回を楽しみに日々気を付けて感謝して過ごします。
- 講演だけでなく、個別に気になることを話せて良かったです。
- 先生や病院で働いている人と身近に接することができた。

2024年11月18日（月）水呑交流館にて、たくさんの地域のみなさまにご参加いただきました。誠にありがとうございました。

これからもお役に立てる情報を発信したいと思いますので、ぜひご参加ください。

次回は2025年3月10日（月）14：00～同じく水呑交流館にて開催予定です！

ご相談はこちら
お問い合わせ

電話：084-920-5050（代表）084-920-5052（地域連携室）
FAX：084-056-0015（代表）084-956-0033（地域連携室）

